



小国中学校 学校だより



令和3年 2号



文責 狭間

「わくわく ときどき」

6月8日(火)、生徒総会を開催しました。特に本年度は、校則の規定についても議題に挙げられており、靴下や肌着の規定について話し合われましたし、制服についても考えていきたいとのことで提案がありました。

コロナ禍ということで、オンライン方式での実施としましたが、戸惑うそぶりもなく取り組む生徒の適応力の高さにまずは驚かされました。

私自身は生徒会本部の教室におり、その様子を眺めていましたが、画面に映し出される生徒はもちろんのこと、その教室にいる本部役員の生徒一人一人が、自分の役割を自覚しており、自ら考えて動く姿を頼もしく見つめていました。それと同時に、テレビ画面越しに伝わってくる各教室の真剣な様子に、本校生徒の可能性を感じ、わくわくする時間でした。(この時の様子は、「おぐちゃん」にて放映されましたのでご覧くださいました方もいらっしゃるのではないかと思います。)

また、この日は授業参観も実施させていただきましたが、前日からの雨に加えて、時折の雷というあいにくの天気でした。それでも多くの保護者の皆様方においていただけたこと、あらためて感謝申し上げます。今回参観いただいた授業の中にはタブレットを活用した授業もありました。タブレットについては、生徒一人一台の配備が完了した今、授業においてどのように活用するかが問われる状況になってきますし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大次第ではオンライン授業に切り替えることも想定しています。そのためにも日常の授業において使いこなしておくことが大切だと考えているところです。これまで同様のコミュニケーションや情報検索の道具としてはもちろんのこと、これまでの「学び」を定着させる道具としても活用方法を考え取り組んでいます。その学習の様子についてはこれからも機会をとらえてその様子を見ていただく予定です。

今後ともその時々状況を変えて、やれることに取り組んでいく本校でありたいと思っています。保護者の皆様方にもお願いすることが多々あるはずですが、今後ともご協力の程、よろしくお願い致します。



【生徒総会での生徒会長挨拶】

【保護者会でのPTA会長挨拶】



【廊下からの授業参観

ご協力に感謝いたします】



「2021年 熱い夏」

6月に阿蘇郡市中体連夏季大会が終了しました。結果は**右表①**の通りです。柔道部、男子バスケットボール部、男女バドミントンクラブが県大会への出場を果たしました。

個人戦でも柔道では5階級(50kg級・55kg級・60kg級・66kg級・81kg級)で部員6人全員が県大会出場。バドミントンクラブでも男子シングルス・ダブルス、女子シングルス・ダブルスの全てで1位になるとともに、総勢12人が県大会に出場しました。

また、県大会出場は果たせなかった部活動でも、ソフトテニス部は、あと一步、あと一点というゲーム展開でしたし、野球部、バレーボール部、女子バスケットボール部は南小国中との合同チームとして、各会場で全力を尽くせました。

①【阿蘇郡市中体連大会の結果】

柔道 団体戦	第1位
男子バスケットボール	第1位
女子バドミントン団体戦	第1位
男子バドミントン団体戦	第1位
野球	第3位
ソフトテニス団体戦	第3位
バレーボール	第3位
女子バスケットボール	第3位

この郡大会の結果を受けた県中体連大会は、**右表②**の通りです。
 県中体連大会では自分たちが思い描いた結果は得られなかった男子バスケットボール部も、その舞台に立てたこと自体が素晴らしい結果であり、胸を張って、次の目標を目指してくれるはずです。

その他にも、**右表③④⑤**にまとめましたように、九州大会で優勝を果たした女子ホッケー部は、準優勝を果たした男子ホッケー部と共に全国大会へ出場を果たしましたし、県吹奏楽コンクールに出場した吹奏楽部は会場となった県立劇場で堂々の演奏を行い銀賞を獲得しました。

また、「通信陸上熊本大会」に出場した陸上部では、三人の生徒が入賞するとともに、多くの生徒が自己新記録を出せました。

その後の大会結果として、九州中体連大会に出場した男女バドミントンクラブは女子チームが九州第3位となり、全国中体連大会に出場しました。全国大会では一回戦を勝利し、二回戦でこの大会で優勝した青森山田中学校と対戦し敗退しましたが、全国の頂点との距離を知る何よりの機会となりました。

この夏、各会場で全力で臨む本校生徒の姿は誰もが輝いており、その



姿を見ることが出来ただけでも私としては大満足の時間でした。

ご支援いただいた皆様方に、この場を借りましてあらためて感謝申し上げます。

「夢を追いかけて」

既に新聞やテレビはもちろんのこと本町広報誌でもご覧になられたと思いますが、今夏に行われた東京オリンピックに本校卒業生の北里謙治選手と穴井善博コーチが出場されました。スポーツをする人にとっては何よりの目標となるオリンピックという大舞台。きっとご本人はもちろんのこと、そのご家族の皆さんにとってもかけがえのない時間となったはずです。北里さんや穴井さんお二人にとっては小さい頃からの夢を実現できた最高の時間だったはずですが、画面越しに声援を送る本校生徒にとってはこれからの夢を思い描く何よりの時間ではなかったのかと思っています。本校ホッケー部はもちろんのこと、本校生徒にとっても、先輩方が懸命に挑むその姿をしっかりと見守り、声援を送ることが出来たことはありがたい経験でした。この経験が種子となり、いつの日にか大輪の花を咲かせてくれることを楽しみにしています。

②【県中体連大会の結果】	
	バドミントン女子団体優勝、 男子団体準優勝
個人戦	女子シングルス1位・3位 男子ダブルス2位 男子シングルス8位
	柔道団体ベスト8
個人戦	66kg級ベスト8 81kg級ベスト8
	男子バスケットボール 一回戦
③【ホッケー九州大会】	
女子チーム	優勝
男子チーム	準優勝
【全日本中学生選抜大会】	
女子チーム	ベスト16
④【熊本県吹奏楽コンクール】	
	銀賞
⑤【通信陸上大会熊本県大会】	
	女子三段跳 4位 男子四種競技 4位 5位



【オリンピック出場応援の横断幕】



【ランチルームでの応援】

「潤いと元気のもと」



現在、本校舎前の花壇には、マリーゴールドやサルビアの花が咲き、勢いよく育ったコキア（ほうき草）と共に、登下校する生徒を楽しませてくれています。この花々は「小国町学校運営協議会地域学校協同本部」の室原明美コーディネーターを始め、花育活動応援団の小田原英子さん、金古光子さん、松寄優子さんが植えてくださったものです。コロナ禍で様々な活動が制限されている昨今ですが、花壇の花々から潤いと元気を分け与えてもらっています。あらためてありがとうございます。

